

入野小学校 校長室だより

2014. 4. 18(金) No. 2 文責：芝

1年生が通常の下校に…

入学式から1年生は今日が10日目の授業日です。今は「ひらがな」の「つ」など、比較的素直な構造の文字から勉強を始めたところ。授業の様子を見ながら、えんぴつの持ち方や字形など、自己流のクセがつかないように気をつけてほしいと思ったことでした。(私には「や」など、いくつかの文字にクセがありませんので…)

1年生の下校は、15日(火)まで入野小学校職員が付き添いました。いよいよ16日からは自分たちだけでの下校になりました。『安全に気をつけて帰ることができたかな?』やっぱり、そこが一番気になる場所です。何かに夢中になって車に気がつかないようなことがあれば大変です。安全は何より優先すべきことですので、皆さんもお気づきのことがありましたら学校までお知らせください。

ところで、この「1年生の下校の付き添い」ですが、「歩いているときの1年生の会話や動作が楽しい」と職員室で話題になっていました。下の写真は私が付き添った時の一枚。「近所の犬に帰宅のご挨拶」の様子。仲のよい友だちを呼ぶようにワンちゃんの名前を呼び、小走りで近寄っていきました。ワンちゃんの方も盛んに尻尾を振って大歓迎の様子。日頃から仲良く接しているのだろうなと思ったことでした。

ちなみに、子どもたちを送った後で私一人がその犬の前を通った時にはしっかりと吠えられて



しまいました。なかなか賢いワンちゃんです。

子どもたちがご近所のことをよく知っているというのは、子どもたちと地域が強く結びついていることを表していると思います。本当にうれしいことだと思いました。

不思議な顔が不思議

先日、交通指導に立っていた時のこと、何人かの子どもたちが道路の向こう側から不思議そうに私を見ながら近づいているのに気がつきました。始業式から3日目ですから、「この人だれ?」ということもないだろうし…、なぜだろうと、私も不思議そうな顔をしていました。

次に気がついたのは、不思議そうに見ている子どもたちが私のネクタイあたりを見ているということ。『もしかして、このネクタイの模様が忍たま乱太郎の服の模様に似ているから見ていたのかな』と、その時には思ったりしていました。

次の日、『忍たまネクタイ』をしてないのに、一人の男の子が不思議そうな顔をして近づいて来て言いました。

「校長先生、何が付いちょうが?」

指さしたのはネクタイピンです。あ、そうか…。昨日の不思議そうな顔も『これ』だったのか…。

私は『ネクタイに針を刺して止める』タイプのネクタイピンしか使いません。今はクリップのように挟むのが主流で、「ネクタイを傷めるから」と針式を使う人は少数派になっていることは聞いていましたが、不思議そうに見ている子どもたちは、『そんな現実』を示していたのでしょうか…。

子どもたちの見方は素直ですが、私たち大人には意外に感じることも多々あります。そんな素直な見方から『大人の常識・思い込み』を問い直す機会は、けっこうあるのかもしれないね。